



# JAPANESE JOURNAL OF MATHEMATICS

JJMは2005年の存続の危機を乗り越え、継続して出版されることになりました。2006年より3rd Seriesを創刊、最高レベルのサーベイを出版する国際学術誌(年2回発行)として生まれ変わりました。

2016年、トムソン・ロイター社はインパクト・ファクター(2015)でJJMが世界の数学の対象ジャーナル全312誌の中で16位と発表しました。

JJMのインパクトファクター : 1.778

## Editors

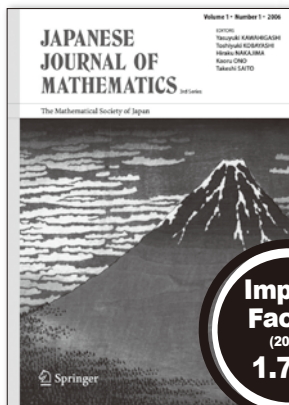
小野 薫 (京都大学数理解析研究所)

河東泰之 (東京大学)

小林俊行 (東京大学/Kavli IPMU)

斎藤 毅 (東京大学)

中島 啓 (京都大学数理解析研究所)



最新号(2016年第11巻1号)を紹介します。

**特集: 高木レクチャー**

ホブキンス

『ケルヴェア不変量問題』

**Abstract** ケルヴェア不変量問題の歴史と解決について、その解決から提起される将来の方向とともに論じる。

シヨルツェ

『パーフェクトイド志村多様体』

**Abstract** 数論的な3次元双曲多様体など、局所対称空間のコホモロジーに現れるねじれ部分についての著者の研究を解説する。

ギオネ

『自由解析とランダム行列』

**Abstract** 自由差分商に関係したシュウインガー・ダイソン方程式を記述する。そのような方程式は、組み合わせ理論、作用素環論、通常の確率論などの異なる分野に現れる。

ジョーンズ

『結び目、群、部分因子環と物理』

**Abstract** 結び目理論で群は大きな役割を果たした。部分因子環(ある種のフォン・ノイマン環の部分環)が組紐群とトンプソン群FとTのユニタリ表現をどのように導くかを示す。

柏原正樹

『ホロミック加群に対するリーマン・ヒルベルト対応』

**Abstract** これは、(不確定特異点を持つ)ホロミー加群のリーマン・ヒルベルト対応に関する概説である。第16回高木レクチャーにおける講演に基づいている。

図書委員の先生方へ: 新規購読をおすすめします。

【連絡先】 〒110-0016 東京都台東区台東1-34-8 一般社団法人 日本数学会 Fax: 03-3835-3485  
年2回発行 ISSN: 0289-2316 (冊子版) ISSN: 1861-3624 (電子版) 年間購読料 ¥25,000 + 税 / EUR198.00

彌永昌吉先生が100歳で発表された書き下ろしや、アーノルド等の特別寄稿を掲載した創刊号から、スメイリヤリオンズ(2-1号)、コンツェピッチ(4-1号)、コンヌ(6-1号)、ラフォルグ(9-1号)の書き下ろしを掲載した各号、最新号も冊子単位で購入できます。会員割引 ¥7500+税/冊子 もあります。

広く一般の会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。



一般社団法人 日本数学会

投稿規定は <http://www.springer.jp/JJM/>